

## 理念・目的・目標

岡山大学大学院環境生命科学研究科は、従来からの「異分野融合」の理念を継承・発展させ、「文理医融合」を目指した環境学研究科と、世界的な人口増加と気候変動による生産性の変化に対応して持続的な食料生産を確保することを目指した自然科学研究科のバイオサイエンス専攻の農学系分野を統合させて、2012年4月に設立されました。

本研究科は、博士前期課程5専攻、博士後期課程2専攻から構成されています。人類社会の持続的発展における喫緊の課題である循環型社会形成と、食料の安全保障を確保するための課題解決を目標として、教育面では、自然科学研究科と密接に連携・共同して、この課題解決をリードできる人材育成を進めています。研究面では、課題解決に貢献できる新しい学問体系の構築をめざしています。

## 岡山大学大学院環境生命科学研究科の構成

